

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	平成30年度 高砂市子ども・子育て・若者会議 第1回子ども・子育て部会
開催日時	平成30年 11月13日(火) 18:30～
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	こども未来部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について (アンケート・ヒアリング調査の内容について) (2) その他
出席者	部会長、副部会長、委員9名
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
子育て支援室長	<p>【配布資料確認】</p> <p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、平成30年度高砂市第1回高砂市子ども・子育て部会を開会いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただきます。また、本日の傍聴者は、出席がないということになっておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、本日、委員13名のうち、委員2人が欠席ということを知っております。出席者は、11名になりますので過半数あります。ということで、高砂市子ども・子育て・若者会議条例第6条第2項によりまして、会議派成立しておりますことを、ご報告申し上げます。</p>

	<p>2 議題</p> <p>(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について</p> <p>【第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について（資料①）説明】</p>
<p>子育て支援課長</p> <p>部会長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>1点目が、前回の第1回の子ども・子育て若者会議において、私がこのニーズ調査に212万8,000円の子算が出るということで、この人数というのはどこからきているのですかという質問をさせていただいた時に、対象者の人数は前回と同様にして、同人数を予定していますと答えられたと思います。今回、3,300人で、前回は1万人近いということですから、これについては、前回、「同程度、同人数を予定しています」ということだったのですが、違いがあるなと思いました。</p> <p>2点目です。小学生1,000人ということですから、低学年と高学年でかなりニーズが違うと思います。例えば、神戸市さんでしたら低学年の保護者、高学年の保護者、高学年の児童本人が答えるようになっています。小学生は全て1つの調査になっているのですけれども、低学年500人、高学年500人というようにお考えでしょうか。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>1点目の、前回の調査に合わせた人数で今回の調査も行うということについて、前回調査の就学前児童は、実際2,153人を行っております。小学生の保護者に対しても1,025人、高校生に対して229人を行っておりますので、ほぼ同様の抽出者数であると思います。2,000名については、小学生の中に、今回抽出しておりますのは、学年ごとに23%抽出するという形で、学年ごとに均等に抽出している状況で、偏りはないものと考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>人数のことについては、資料の読み方を私が間違えていました。申し訳ございません。前回の有効回収した人は1,025人というわけではなく、抽出した人数が1,025人ということですか。</p>

子育て支援課長	抽出した人数です。2,000人あたり1,000人という規模で、回収率は66%であったり80%であったりしますので、抽出は前回と同じような形で抽出しております。
委員	1,025とか229という中途半端な数はなぜなのですか。
子育て支援課長	学齢ごとにパーセントで抽出しておりますので、ぴったりした数字にはならないところがございます。均等にするというところで、パーセントに合わせて対象者を抽出しております。
部会長	続きまして、アンケート調査票の説明を事務局よりお願いいたします。
子育て支援課長	・アンケート調査について 【アンケート調査票について（資料②、資料③）説明】
部会長	事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。
副部会長	前回調査があったということでしたけれども、何年くらい前になりますでしょうか。
子育て支援課長	前回調査、5年前に「第1期子ども・子育て支援事業計画」策定の時に行ったアンケートとなります。
副部会長	前回、アンケートを行って、それなりの結果は出て参考にはなると思うのですが、アンケートから子ども・子育てに関する施策に結びついたことや、こんなアンケートがあったからこういうことをしましたというようなことが具体的にあるようでしたら、教えていただけたらと思います。
子育て支援課長	このアンケートでは、子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の方策というところで、このアンケート調査を基に、どれくらいの量の見込みを立てていくかというところを、5年間、計画値という形で立てており、一番の目的としましては量の見込みを取る13事業です。時間外保育であったりとか、放課後児童健全育成事業、学童保育所であつ

副部会長	<p>たり、子育て短期支援事業、養育支援訪問事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業等、このアンケートの内容から推測し、計画値を追って、計画を策定しております。</p> <p>せっかく皆さんに協力していただいてアンケートを採って、時間と費用をかけてするので、その辺を見える化、こんなアンケート結果だからこういうことをしましたというのをもっとアピールしていただけたら、アンケートの成果というのを非常に生かしていきたいのかなと思っています。よろしくお願ひいたします。</p>
子育て支援課長	<p>前回のアンケート項目が、かなり今回も入っているような状況でもございますし、前回と比較したり、また新しい設問の内容ですとか、今回のアンケートの結果を踏まえて、次の計画では生かしていきたいように、この会議でもご報告できるようにしていきたいと考えております。</p>
副部会長	<p>私は小児科医なので、母子手帳はいろいろな所で、健診したら健診の記録とか、予防接種の記録とか、よく見るのですけれども、残念ながらプロフィールファイルを見たことがありません。もう少し、今回の結果でプロフィールファイルが使いづらかったら、利用がなければやめてもいいのではないかと思います。分冊されているというのは、子どもの記録を残すにしても母子手帳に書いてプロフィールファイルに書いてと、やはり2つに書くというのは親御さんにとっても非常に大変なものです。母子手帳は今、既製品を使っていますけれども、高砂市独自の母子手帳を作って、それを充実させるとか、そういうところに生かしていただけたらと思います。アンケートをただで終わらないように、それに一歩進んだ取り組みをぜひとも考えていただけたらと思います。</p>
子育て支援課長	<p>プロフィールファイルにつきましても、今回、アンケートで聞きまして、ニーズに合っているかどうかということもございますので、また、いろいろな子育てのアプリですとか、いろいろな方法が他にも出てきて、いろいろな記録を残すようなものも出ておりますので、いろいろな方法で考えていきたいと考えております。</p>
委員	<p>アンケート項目を新たにいろいろ付け加えていると思うのですが、私は小学校なのですが、就学前の子どもたちに対するアンケートをいろいろ施策に取り込んでくださ</p>

	<p>っていると思います。今回、小学校に対しても、スマートフォンでありますとか、読み聞かせとか、いろいろなアンケート項目を付け加えてくださっているの、ぜひとも、そのアンケート結果を学校教育のほうにも生かして、子ども・子育て支援事業の中の学校教育の部分にも生かしていただきたいという要望です。</p> <p>質問ですが、例えば 11 ページ目の「放課後子ども教室を利用したいと思いませんか」で、「利用したくない」の理由に、1 番に「利用料がかかるから、利用料が高いから」とあるのですが、私の認識では、放課後子ども教室、学習のほうでは、保険料 800 円はかかりますが、利用料というのはかからないと思っています。</p> <p>2 点目です。就学前のほうは、表紙の下のほうに「幼稚園・保育所・認定こども園にご提出ください」とありまして、小学校のほうは「通っている小学校にご持参、または郵送くださるようお願いいたします」ということで、小学校のほうに保護者が持ってくることになるのかなという書き方なので、それがどうかと思います。</p> <p>3 点目、古いほうの資料なので、もしかしたら違っているかもしれませんが、前の資料の間 37 はどこへいったのですか。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>まず 1 点目の放課後子ども教室の利用について、利用料がかかるものもあるかと思うのですが、担当が不在でございまして、はっきりしたことはお答えできない状況になっております。放課後子ども教室の利用に利用料がかかるかというところなのですが、放課後子ども教室の事業としましていろいろな事業がありまして……</p>
<p>委員</p>	<p>放課後子ども教室の運営委員をしているんですが、放課後子ども教室は、学習のほうは確かに 800 円だけなのですが、他に例えば工作教室とかやるようなもの、実費でお金がかかるものとか、私どもがやっている「こどものまち」などでも参加料がかかったりとかいうものもあります。多分、その辺りの分で、料金がというところが出てきているのかなと思いますが、学習だけでいうと、この 800 円だけで 10 回講座が受けられるという形になっているかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ、利用料がかかるからといって、全く知らない方が読んだ場合、放課後子ども教室は利用料がかかる所なのだという認識になってしまうので、少しこの書き方がどうかかなと思ったのです。そういう認識でしたら、放課後子ども教室の利用者が減るのではないかと、参加しようと思わないのではないかと考えたので、そういう質問をさせていた</p>

<p>子育て支援課長</p>	<p>できました。</p> <p>そのアンケートの項目については、また担当課と協議させていただいて検討させていただきたいと思います。</p> <p>2点目ですけれども、就学前児童と小学生用のアンケート調査の回収については、幼稚園や保育所、認定こども園に通っている方や、市内の小学校に通っておられる方については、学校や園から配布していただきまして、また学校や園に回収していただくような形をお願いしております。保護者にご持参いただくのではなく、児童に提出いただく形にしております。</p>
<p>委員</p>	<p>直接、児童にですか。ご持参くださいと保護者に言っているのですか。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>設問を取り違えておりました。小学生用のほうに「小学校にご持参」と書いてあるのは、保護者の方がご持参していただく必要はなくて、生徒を通じて学校のほうに持ってきていただくような形を考えております。この書き方は、誤解を招きますので、修正をしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>3つ目の質問は、新しいほうで問 41 でした。すみません。新規に入っています、「お子さんに必要と思われる取り組みはどのようなことですか」ということで、いろいろあるのですけれども、8番の「社会体験」というのは、学校教育法では、指導に当たる人は児童の体験活動を特に重視すると。特にボランティア活動など、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動に努力するものとするという文言があるのですけれども、7番のボランティア活動と8番の社会体験活動はどのように違うのか。子ども若者白書の中では、体験活動というのは生活文化体験と自然体験と社会体験で、社会体験の中身はボランティア活動が入っているのですけれども、そこはどのように考えたらいいのかなと思いました。7番も社会体験になるし、8番の社会体験というのは、具体的に、例えば職業体験とかそういうことをさせているのかどうか。</p> <p>私がこれを選ぶとすると、かなり迷うと思うのですが、そこはどのような認識でこの項目があるのかなと思うのですが。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>この項目につきましては、前回は同じような項目を入れていたというところで、そのま</p>

<p>部会長</p>	<p>まになっていたところもあるのですが、社会体験というところで、確かに重なる部分もございますので、この項目については、表現をどのように変えるかというところで検討したいと思います。</p> <p>今のご質問の中で、問30の利用料がかかるからというところも具体的に書かれたり、その表現が、捉え方が少し違ってくるというような、小学校の2つ目も、通っている小学校にご持参ということは、子ども対象か保護者対象かといったところを見て、分かりやすく書くような形と思います。</p> <p>もう1つは、社会体験というのもボランティアが含まれているのではないかとこのころを、もう少し明確に、違いがあるようだったら補足を付け加えるような形にしていだければ良いかと思います。また、そこは検討していただいて、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>就学前児童のアンケートの6ページ目の、問9-1「認定こども園を利用している（利用したい）理由は何ですか」という質問ですが、1、2、3番に関しては、認定こども園であれば認定こども園の良さということが書いてある内容かと思うのですが、4、5、6について、例えば4番「幼保小の連携が強化され、小学校の移行がスムーズになるから」ということで書いてあるのですが、必ずしもこれが認定こども園だからといってスムーズになるのかどうかと思っています。質問を見た方は、そういうふうに思われるのではないかということと、特に5番「園舎・園庭の設備環境が向上するから」と書いてあるのですが、これは認定こども園だから向上するのかなと非常に疑問になるところであると思います。逆に、保育所・幼稚園でも「幼保小の連携」、これは幼保小の連携だったら、例えば幼稚園と小学校、保育園と小学校の連携かなと思うのですが、逆に保育所・幼稚園でもそういうふうに小学校への移行がスムーズになるように努力している所もありますし、また園舎・園庭の設備環境も向上するように努力している園もあるのではないかとこのように思いますので、この辺り、どういう意図があって4、5、6番の設問、選択肢が含まれているのか、教えていただきたいと思います。</p>
<p>子育て支援室長</p>	<p>4、5、6番の質問について、認定こども園に問わず、就学前の施設は共通の小学校の連携、または園舎・園庭の環境整備、または子育て支援というところも、認定こども園だけではなくて、保育所でも行っているのではないかとこの質問だったと思うのです</p>

<p>委員</p>	<p>けれども、ここの質問が「認定こども園を利用している理由は何ですか」という、その前のページの間9のところで、認定こども園についての機能を聞いております。というのは、高砂市では今現在の計画にも挙げておりますように、認定こども園の推進を行っております。前回の計画であれば、幼保一体というところの理由を聞いておりましたけれども、今回は認定こども園が進んでいる中、また今後認定こども園を進める中でこういった質問項目を挙げさせていただいたということです。</p> <p>内容につきましては、4、5、6番については、決して保育所では行っていないというものではなく、認定こども園を利用しているという中での質問でありまして、特定項目の中で認定こども園という大きな考え方の中に、小学校のスムーズな連携というところで、幼稚園と保育園が一体化されたもの、または児童福祉施設等、学校が一緒になったというところで、小学校のスムーズな連携ができるという国の考え方からの質問ということにさせていただいています。</p> <p>また、園庭・園舎の施設環境につきましては、誤解を招くような質問であるというご指摘が確かにあるかと思えます。決して、認定こども園だから向上するのだということではなくて、他の就学前施設も同じように施設環境は設備基準に基づき実施しているかと思えます。ここの大きな考え方としては、幼稚園と保育園、一体化の認定こども園は施設の基準という部分で、法的に基準が高いというところの基準を取りまして認可が行われているという観点から、こういう質問の内容にさせていただいているかと考えます。</p> <p>もう1点の子育て支援事業につきましては、認定こども園では、地域の子ども子育て支援事業は必須となっております。ここについても、認定こども園の1つの機能としまして、子育て支援事業が必ず行わなければならないというところで、認定こども園特有の事業ということで、こういう質問にさせていただいております。</p> <p>ただ、この4、5、6番については、誤解を招くような質問になっているという表現を考えますことから、表現についてはもう少し検討させていただき、誤解を招かないような表現に改めるなど修正させていただきます。</p> <p>4、5、6番は、公立の認定こども園よりの質問のような感じがしてならないのですが、高砂市としても公立の認定こども園、もちろん公立ではなしに民間も、ほとんどが認定こども園であるということですが、そういうふうにごんごん移行している中ですが、もう少し、今おっしゃるように表現を変えていただいたほうが、保育所や幼稚園にとっては良いのかなというような感覚もあります。</p>
-----------	--

委員	<p>アンケートを採る際に、多少誘導される部分というのがあるかなと思います。</p> <p>私の所もこども園にはなっているのですけれども、もともと保育所ということで、前から非常に疑問に思っていたのは、保育園であっても、もう20年、30年も前から教育というのはきちっとやっていますし、こども園になったから急に教育が始まったとか、そういうことでもありません。今の幼児教育の、乳幼児の研究によれば、もう既に海外とか国際的な話でいえば、3歳から教育とかいう話ではなくて、0歳児から適切な教育がなされるということが必要だといわれているという中で、できるだけ、悪いほうの誤解というのはないようにしていただきたいなと思いますので、付け加えてお伝えしたいです。</p> <p>逆に、朝食をきちんと食べていますかとか、そういう話になりますと、いいほうの誘導というのか、そういう質問によって、その質問を受けた方がよりそういうものが大事だなというふうになるというのも、ニーズ調査でもあるのですけれども、そういう効果も1つあるのかなと思っています。</p> <p>今、自分自身として非常に問題性が高いということと、小学校のアンケート調査のほうにスマホのことが書かれてありまして、今は乳児期から、0歳児からのスマートフォンの使い方という、保護者がスマートフォンをやたらに育児で使うことによって子どもがおかしくなっているというのが現実として、これはもうデータというよりは、そういう本が出ていたりとか、あるいは、日頃、子どもや保護者と接する中で、本当に子どもの養育状態が悪くなっているということです。</p> <p>昔は「授乳しているときにテレビを見ると」みたいなことで、テレビは駄目だといわれているのが、スマートフォンに代わり、より養育機能が低下していると。スマートフォンをいじる子どもがいたら、逆に親が喜んでしまうというような現象が起こってしまって、全然よくないのですけれども、起こってしまっていると。それを例えば質問の中に、YouTubeとか、スマートフォンを使って育児していますかというような、それが実際悪いことだという、子どもにとって良くないことだということを認識していますかというような質問があれば、少し良くなるのかなと思っています。そういうものを、もし項目に入れられるようであれば、入れていただきたいと思っていますが、どうでしょうか。</p> <p>もう1つお願いしたいのが、例えば、就学前の15ページの間28「妊娠中とか出産後のサポートとして」とありますが、「7. 子育て経験者から話を聞ける場の提供」とか、「9. 子育て支援に関する情報の提供」というのがあるのですけれども、非常に子育てについ</p>
----	--

<p>子育て支援室長</p>	<p>てよく分かっていない。</p> <p>子育てする前の段階、妊娠中とか出産後でもいいのですけれども、その段階での教育というのか、「子育ての指導が必要だと思いますか」というような、そういうことも書いていただけたら、うれしいなと思います。そうすると、そういうのもサービスとしてあるのだということ、あるいはそういうのが必要だと思われるのであれば、そういうのがあるだけで随分子育ての内容は変わるのになと、私は思っているのですが、そういう項目は入れていただけないのかということをお聞きしたいと思います。</p> <p>もう1つ、園とか小学校で、持ってこられる場合に、保護者の方が関係者を1回経由することで、見られるのではないかとということで、アンケート内容が、話が変わってしまうという可能性がないのかなということで、それが封印されているのであれば全然大丈夫かなと思いますので、その点をお聞きしたいと思います。</p> <p>まず、1点目について、確かに、このアンケートの内容の中で、一部そういう誘導的というような、誤解を招くような形になっている、先ほどの質問でもありましたように、表現についてそういうふうに捉えられてしまうような内容になっているというご指摘だったと思うのですが、そこについても表現の方法をもう少し考えさせていただいて、認定こども園だから、保育園だから、幼稚園だからというようなことがないように、表現の方法を改めさせていただきたいと思います。</p> <p>確かに、保育園・幼稚園・認定こども園というところで、就学前施設については、現在、そういったように、昔に比べまして未就学施設の目的を持った機能が増えているということで、保護者にとっても非常に分かりづらいというところもあります。先ほどの廣瀬委員の時にもお答えさせていただいたように、決して認定こども園だけが幼児教育を行っているというような誤解を招かないように、考えていきたいと思っています。</p> <p>高砂市につきましては、ご存じのように、幼稚園・保育園・認定こども園につきましては公立も私立もございます。そういった中で、それぞれの施設の利用は、就労状況や家庭の状況、保護者の状況によって選択できます。その状況に応じて保育内容・教育内容が変わることがないように、幼保一体化、または認定こども園化を進めるにあたりまして、それぞれの教育・保育要領、または保育所保育指針の、それぞれいいところを合わせまして、高砂市の（行動指針）計画を策定しております。公立を中心に（行動指針）計画を策定しましたが、各民間園にもこの計画を基本とし、0歳からの教育を行い、また、公立と民間との連携の中で、スキルアップの研修会なども実施しております。そう</p>
----------------	--

<p>子育て支援課長</p>	<p>いった内容で、認定こども園だから教育とか、保育園は保育をというような表現に誤解がないような形で、もう一度アンケートの表現については検討させていただきたいと思っています。</p> <p>2点目につきまして、就学前児童の間28のところがございます「妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのような支援が必要だと思いますか」というところで、先ほど言われておりました、スマートフォンを使っての育児が悪影響があるとか、そういった項目については、関係の部局と協議しまして、できれば入れていけたらと思いますので、検討していきたいと考えております。</p> <p>もう1点、アンケート調査の回収についてですが、保育園とか小学校を通じて回収していただくというところで、返信用封筒を一緒に添付しておりまして、その中に入れて、封をしていただいて出していただくという形を取りたいと思っております。特に、この内容が学校とかに分かってというようなことは、防ぐような形で考えております。</p> <p>出産前の情報とかいう質問については、高砂市のほうでも子育て世代包括支援センターというのが出産前から関わっていて、出産後も小学校に入るまで、ずっと切れ目なく支援をしていくというところもございまして、子育て世代の生活習慣ですとかも、今、本当に大きく変わってきて、携帯やスマホを使って育児をしているというところも、大変目に付くところではございます。関係部署と、どういった対策ができるかというところは話をして、悪影響があるというのをご存じない方にも、そういうところを離れて育児はする必要があるとか、分かっていただくように対応を考えていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>問28に関して、子育て支援に関する情報の提供と、もう1つ「子育てに関する情報の提供」という項目が1個付け加わったらいいなという程度でございます。</p> <p>それから、子育ての方法として、「スマートフォンを使っていますか、使っていませんか」という項目があればいいなと思っております。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>・ヒアリング調査について</p> <p>【ヒアリング調査（資料④）について説明】</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>(2) その他</p> <p>【ひとり親家庭等自立促進 施策評価シートについて（資料⑤）について説明】</p>

子育て支援室長	<p>【今後の教育・保育施設の変更内容について説明】</p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。</p>
委 員	<p>まず、定員の変更の資料だけであって、平成32年度にどれだけの子どもが高砂市内の認定こども園とか、保育所、幼稚園の中に入っていきのだからという見込みの資料がまったくないということですので、しっかりと、再来年度ということになりますので、それまでに量の見込みと、この量の確保の資料ということで、これだけの規模の園が新しくできて、定員もこのように変更になるという説明をしていただければ、我々委員も分かりやすいと思います。これだけ見ても、多分、何のことかという感じがすると思いますので、それによって、例えば、曾根こども園や米田こども園は、ものすごく量の見込みが少ないのに、なんでこれだけ大きな園を、税金を使って建てるのだというような市民の感情もあろうかと思しますので、そのあたりをきっちりとしていただければと思います。</p>
子育て支援室長	<p>認可定員、または認可変更につきましては、今後変更を予定している、または、平成31年度に実施が決まっているところにつきまして、ご報告させていただいたところです。</p> <p>委員がおっしゃいますように、今後の利用数は、現在入所の申し込みを行っておりますけれども、その利用ニーズ量を把握し、そのニーズに対する確保を行うなかで利用定員というところもあるかと思えます。そういうところの整合性も含めまして、次回の子ども・子育て会議の時には、平成31年度の各園の定員並びに利用定員のところをお示してきたらと思っております。</p> <p>それと、平成32年度の連携型認定こども園につきましても、それぞれの園につきまして、これはあくまでも予定ですので、準備を進めているところを先立っての報告とさせていただきます。</p>
子育て支援課長	<p>【第2回子ども・子育て部会の日程調整について説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回子ども・子育て部会の予定は、4日ほど設定しており、後日ファックスかメールでご返信いただく。 ・アンケート調査は事務局一任でお願いしたい。

部会長	事務局で一任することによろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。 議題は以上ですが、他にご意見等ございますでしょうか。
委員	教えていただきたいのですが、私の勘違いかも知れないのですが、昨年度の子ども・子育て、若者会議とかの議事録というのは、終わって2週間くらいしたら、確認してくださいと送られてきたと思うのですが、それは違いましたか。
子育て支援課長	ホームページには上げているような状況ではあるのですが、個々の委員の方には、お送りしていないような状況です。
委員	ホームページに上がっているかなと思って見ていたら、今日上がっていたのですが、全然上がっていないなと思っていたので、その確認はあったのかなと思っています。それともう1点、私は高砂市の仕組みのことがまったく分からないので、教えていただきたいのですが、子ども・子育て支援事業計画というのを、9ページから96ページ間のこれを、第2次で作っていくということによろしいですね。
子育て支援課長	昨年、子ども・子育て・若者支援プランで、1本にしたような形で策定しておりますが、この中の第2部のほうに子ども・子育て支援がございまして、こちらのほうが来年度もう一度策定し直すという形になっておりますので、その部分の計画の策定で思っております。 3 閉会
部会長	それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回高砂市子ども・子育て部会を終了します。本日は、ありがとうございました。
子育て支援室長	部会長、ありがとうございました。委員の皆様、誠にありがとうございました。たくさんの方の忌憚のない貴重なご意見ありがとうございました。これにて、第1回子ども・子育て部会を終了させていただきます。ありがとうございました。

※ 計画の委託料についての議事内容については、省略させていただきます。